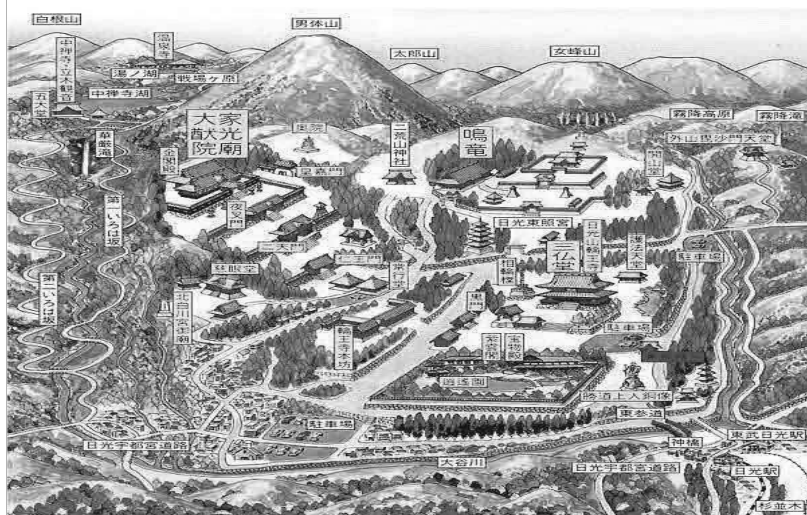


二社一寺



垂木

	場所	歴史	高さ	様式
東照宮	日光	1650年	36m	並行な和様 + 唐様
法隆寺	奈良	594年	31.5cm	並行な和様
東寺	京都	826年	55m	並行な和様
醍醐寺	京都	904年	38m	並行な和様
法観寺	京都	1440年	46m	並行な和様
仁和寺	京都	1637年	36m	並行な和様



法隆寺 五重塔

飛鳥時代
(592-710年)
594年
高さ31.5m
楼閣スタイル
裳階
並行な和様



東寺 五重塔

平安時代
(794-1185年)
空海826～880年頃
1644年(寛永21年)
徳川三代将軍家光
高さは54.8m
日本一の高さを誇る木造塔
並行な和様



醍醐寺 五重塔

平安時代
(794-1185年)
951年
京都の最も古
い木造建築物
高さは38m
並行な和様



法観寺 五重塔

室町幕府
(1336-1573年)
1440年
足利義教
高さは46m
並行な和様



仁和寺 五重塔

江戸時代
(1603-1868年)
1637年(寛永14年)
徳川三代将軍家光
高さは36m
各層の幅はほぼ同じ
並行な和様



東照宮 五重塔

江戸時代
(1603-1868年)
1650年、1818年
高さは36m
36m
下の4層は並行
な和様、
5層目は唐様
(禅宗様)

	寺院	場所	歴史	高さ	様式	素材
大雁塔	大慈恩寺	西安	652年	64m	方形の楼阁式	磚塔
小雁塔	薦福寺	西安	707-710年	43m	方形の密檐式	磚塔
瑞光塔	瑞光寺	蘇州	1008-1016年	43m	八面七層 楼阁式	磚木塔
釈迦塔	仏宮寺	応県	1056年 1195年	67m	八角五層 楼阁式	木造塔
雷峰塔		杭州	975年 1924年 2002年	71m	楼阁式	磚塔
普明 宝塔	寒山寺	蘇州	976年 1906年 1996年	42m	7層の仏塔 唐の楼阁式	木造塔

大慈恩寺 大雁塔



西安市
唐の時代
(618-907年)
652年
三蔵法師
最初五層
現在七層
高さ64m
磚塔
方形の楼阁式



薦福寺 小雁塔

西安市
唐の時代
(618-907年)
707-710年
最初十五層
現在十三層
43m
磚塔
方形の密檐式



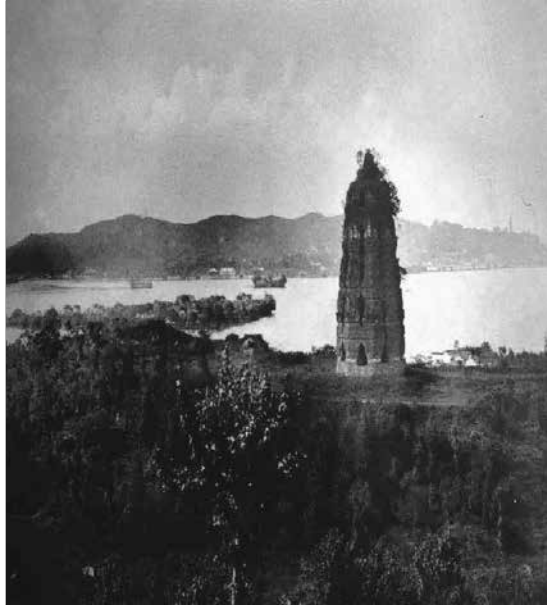
瑞光寺 瑞光塔

蘇州
宋の時代
(960-1279年)
1008-1016年
七層
高さ43m
八面煉瓦木造
樓閣式仏塔
最初は三国の孫権
十三層の舍利塔
現在は1987-1990 再建



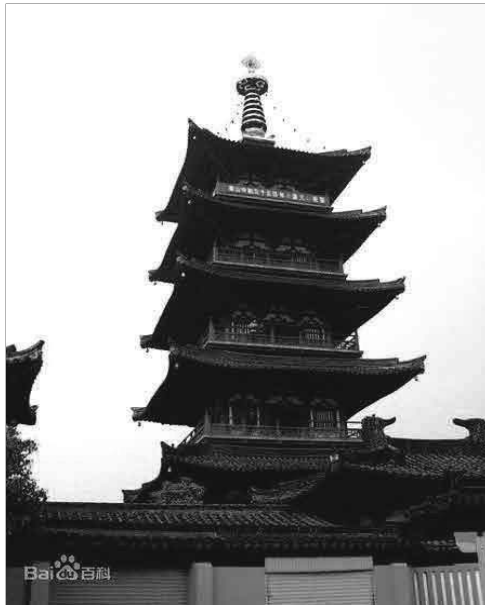
仏宮寺 释迦塔

山西省応県
後晋時代
(936~946年)
八角五層
高さ67m
木造塔
宋の時代(960-1279年)
1056-1195年
中国最古木造仏塔
2016年、ギネス
世界記録世界最
高の木塔



雷峰塔

杭州市西湖南岸
 宋の時代
 (960-1279年)
 975-981年
 煉瓦の仏塔
 1924年倒壊
 2002年再建
 八角樓閣式の塔



寒山寺 普明宝塔

妙利普院塔院
 南北朝時代
 (420-589年)
 502-519年
 唐=>寒山寺
 宋=>普明禪院
 七層の仏塔
 清末1906年 再建
 1996年
 高さ42・2m
 五重の仏塔
 唐代樓閣様式

儒教思想 — 周公(元聖、儒学の先駆)



◆ 周公戒伯禽曰:「我文王之子, 武王之弟, 成王之叔父, 我於天下亦不賤矣。然我一沐三捉發, 一飯三吐哺, 起以待士, 猶恐失天下之賢人。子之魯, 慎無以國驕人。」

司馬遷『史記』卷三十三
 「魯周公世家」

◆ 熟語: 握髮吐哺

周公を尊敬する人々

曹操(155－220年)

『短歌行』



- ◆ 對酒當歌 酒に對して當に歌ふべし
人生幾何 人生 幾何ぞ
譬如朝露 譬ゆるに朝露の如し
去日苦多 去る日は苦だ多し
何以解憂 何を以てか憂ひを解かん
惟有杜康 惟だ杜康有るのみ
- ◆ 山不厭高 山は高きを厭はず
海不厭深 海は深きを厭はず
周公吐哺 周公は哺を吐きて
天下歸心 天下心を歸したり

儒教思想 — 孔子(創始者) (紀元前552－紀元前479)



- ◆ 子在川上曰、逝者如斯夫。不舍昼夜。
『論語』子罕篇・第九

- ◆ 子、川の上に在り。曰く、逝く者は、斯の如きか。昼夜を舍かず。

唐子遊び中央一司馬温公の瓶割り

群儿戏于庭，一儿登瓮，足跌没水中，众皆弃去。光持石击瓮破之，水迸，儿得活。

《宋史・司马光传》



晋·皇甫谧《高士传·许由》

尧又召为九州长，由不欲闻之，洗耳於颍水滨。
时其友巢父牵犊欲饮之，见由洗耳，问其故。对曰：“尧欲召我为九州长，恶闻其声，是故洗耳。”巢父曰：“子若处高岸深谷，人道不通，谁能见子。子故浮游，欲闻求其名誉，污吾犊口。”牵犊上流饮之。许由没，葬箕山之巔，亦名许由山，在阳城之南十馀里。尧因就其墓，号曰箕山公神，以配食五岳，世世奉祀，至今不绝也。



司馬遷『史記』五帝本紀(舜帝)

- ◆ 舜年二十以孝聞。三十而帝堯問可用者。
四嶽咸薦虞舜曰、可。
- ◆ 一年而所居成聚、二年成邑、三年成都。
- ◆ 命十二牧。論帝德、行厚德、遠佞人、則蠻夷率服。

帝王の靈廟



大猷院



清西陵



明十三陵

写真資料

◆ 中国の資料

1. 百度百科
2. 視覚中国 www.vcg.com
3. <https://zhuanlan.zhihu.com/p/365362547>

◆ 日本の資料

各寺院や神社のホームページ等

<https://nikko.city/zoo/17.html>

<https://wanderkokuhu.com/>